

プラン検討部会における各委員からの意見

項目	委員名	発言内容等	対応(素案[案]への修正状況等)	備考
新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組	佐古部会長	総合病院の精神科では、自病院の他科でコロナ患者への対応ができるためあまり問題はないと思いますが、緑ヶ丘病院や向陽ヶ丘病院は精神科単科病院であり、院内でコロナ患者が発生した場合、呼吸器・感染症を専門とする医師がいない中、どの様に対応していくのか対策を立てておかれた方が良くと思います。	◆ P37 3今後の取組 ・ 緑ヶ丘病院・向陽ヶ丘病院 院内において感染症患者が発生した際には、保健所と連携し、院内感染対策を講じた上で入院医療体制の確保を図るとともに、重症患者の発生など院内での対応が困難な場合には、保健所等の調整により転院させるなど道が定める取扱いに基づいて対応します。	※一部修正
経営の効率化	佐古部会長	デジタル化への対応として、医療の部分でどれだけ効率化を図るかがポイントだと思います。予算もかかることなのでその裏付けがないと実現できないという状況はあるとは思いますが、もう少しその辺の内容が欲しいと感じました。	◆ P38 1現状 ○電子カルテや医療情報システムを活用し、他医療機関とのネットワーク化など情報の共有化に取り組むほか、医育大学とのオンライン診療を進めています。	※追記
	牧野委員	コロナの影響もあり、遠隔医療が進みましたので、ICTに絡んだデジタル化について記載すべき項目かなと思います。	◆ P40 2課題 【デジタル化への対応】 ○へき地医療や離島診療支援、医療従事者の負担軽減に向け、ICTの活用による医療の質の向上や効率化が必要です。	※追記
	土橋委員	個々の病院において電子カルテに入力した診療内容や検査データ等を他の病院と共有する電子カルテ情報の標準化についても、触れていただければと思います。	◆ P42 4経営改善に向けた取組 (4)デジタル化への対応 ○ICTによるへき地医療や離島診療支援を行うとともに、道内医育大学・基幹病院等とネットワークを繋げ、症例検討や学生実習等教育に取り組むなど、ICTを活用した医療の質の向上に努めます。	※追記
	平野委員	国が進めるオンライン診療は、道立病院の存在する地域では非常に有効であると思います。	○新興感染症への対応のため、感染の発生状況等に応じた電話診療やオンライン面会を実施します。 ○国の動向を踏まえた電子カルテ情報等の標準化への対応や各種情報システム等の活用による他医療機関との診療情報の共有を進めるとともに、医師をはじめとする医療従事者の負担軽減に向けたICTの導入を検討するなど、働き方改革と病院経営の効率化を推進します。	